

園 長	施設長	記録者
		

社会福祉法人駿河会 地域密着型サービス運営推進会議【薬科】

日時 令和8年 6月19日 13:30～14:00

会場 ラポーレ駿河相談室

出席者

園長	川崎誠之	地域代表	森朝世	こだま	水鳥恵理子
施設長	佐野雄基	地域代表	佐藤かず子	嘉響	小黑達也
所長	稲葉紀和	地域包括	佐藤孝秀		

事務局

本日はお時間をいただきましてありがとうございます。
早速ですが駿河会の地域密着型サービス運営推進会議を始めたいと思います。

はじめの挨拶

佐野施設長

本日の議題は令和7年度の実績報告等について、嘉響・こだま双方の担当者より報告させていただきます。

●添付資料

※こだま・嘉響報告原稿

それでは、ここからは こだま、嘉響の順で、各担当者から報告させていただきます。

こだま（水鳥） 添付書類参照

嘉響（小黑） 添付書類参照

事務局

以上、こだま、嘉響における令和7年度実績の報告でした。
各担当者は、もっとお話ししたい事があると思います。
森さん、佐藤さんから、「こんなことを聞いてみたい」というような事がありますか？

- 森委員 小布杉からデイサービスを利用されている方はいますか？小布杉は静岡市の管轄で、隣の岡部は藤枝市の管轄になるから、同じ集落があっても付き合いが少なくなっている。誰がどうしているかの様子もわかりづらくなっている。買い物なんかも車を持っている人は行けるけど、免許を返納すると移動手段がなくなって生活が不便になることなど地域の困りごとが出てきている。
- 川崎園長 山間部の移動手段の確保については地域課題として検討されることが多く見られています。現状、3年以内には清沢地区等のバスの路線については地域でドライバーを確保して運用していかなければならない話が出ており、静岡市内ではすでにコミュニティバスを運行して対応している地域が出ています。駿河会としても、お話頂いた困りごとに対応していけるよう手段を検討していきたいと思います。
- 佐藤委員 山間地では同じように移動手段に困る方もいるので、清沢では久能尾から奥は「やまびこ号」という移動支援ができていて利用している人もいます。やはり地元の方が運転手として対応しているので、同じように地域で地域を支えていく必要があると思います。
- 藁科佐藤氏 地域の実情として高齢者世帯の個数が増えているように感じています。今上がったような地域課題が出ていることもあり、今後も地域で協力して対応していく必要があると思います。
- おわりの挨拶
川崎園長 本日もいろいろな話を聞かせて頂きありがとうございます。
頂いたご意見を参考に、法人、デイサービスの在り方について検討していきたいと思います。
- 事務局 皆さま、様々なご意見ありがとうございました。これで会議を終了とさせていただきます。次回開催時は準備ができ次第ご連絡差し上げるように致します。
本日はありがとうございました。

デイサービスセンターこだま令和 7 年度実績報告

令和 8 年 6 月 19 日

★近況報告

現在こだまでは、59 才から、最年長は 103 才の方が利用されています。令和7年度に100歳超えの利用者様が3名、新しくご利用開始されました。3名とも元気な方たちで、他の利用者様と一緒に体操や散歩などに参加してくださっています。幅広い年齢層の方が来られているため、皆さんが楽しんで利用していただけるよう、日々試行錯誤しています。

★稼働状況

	令和 7 年度	令和 6 年度	
延べ利用者数	2016 名	1548 名	468 名↑
1 日平均利用者数	6.57 名	5.01 名	1.56 名↑
稼働率	54.7%	36.7%	18%↑
年間収入	2298 万円	2007 万円	291 万円↑
新規利用者数	20 名(外部 5 名)	16 名(外部 7 名)	4名↑
終結者	16 名	6 名	10名↑

<最近の傾向>

多くの利用者様に利用していただき、前年度と比べて延べ利用者数は468名増え、年間収入は 291 万円増やすことができました。新規利用者は20名。外部居宅への営業の成果もあり、初めてのケアマネジャー様からも依頼をいただきました。認知症の症状や他の利用者様とのトラブルで利用を断れてしまう方でしたが、認知症対応型の頃から培ってきた対応力を発揮し、こだまでは継続して利用していただく事ができました。また、「入浴だけしたい」「14時には帰りたい」など、利用者様のニーズに合わせて新しく時間短縮での利用も開始し、7名の方が時間短縮で利用していただきました。中には最初は半日の利用だった方も、こだまの生活に慣れて一日利用に変更された方もいらっしゃいます。利用者様それぞれデイに来る理由が違うため、

希望に合わせた利用時間の調整は今後も継続していきます。今後もこだまの対応力やニーズに合わせた利用体制を武器に、継続して依頼をいただけるように活動していきます。

★活動報告

目標：病気や障害があっても自宅で暮らし続けられるこだまになる

活動：①こだまの課題抽出

②研修会を行い、介護力の向上

③知識をもとに、実践する

令和7年度は病気や障害への対応力を高めるために外部研修に参加し、利用者様のケアに繋げる活動を行いました。様々なケースの依頼をいただく中で、医療的な視点が必要とされる方への対応力や、病気に対する知識不足を感じることがあり、それに対する研修に参加しました。褥瘡に対する基礎知識やポジショニングの研修、高次脳機能障害の基礎や事例の研修などに参加しましたが、どの研修もこだまの利用者様に繋げて考えることができ、日々のケアに取り入れることができました。褥瘡のある利用者様に対しては福祉用具のクッションや圧抜きグローブを購入し、負担のない姿勢で過ごしていただく事ができており、その結果褥瘡も改善しています。高次脳機能障害の利用者様に対しては関わり方や支援の仕方、過ごし方などチーム内で話し合うこともでき、生かすことが出来ていると実感しています。今後もこだまに必要な研修に各自参加し、認知症以外でも対応力のあるデイサービスを目指していきます。

令和8年度は『「ここに來たかった」と言われるこだまになろう』を目標に設定しました。令和7年度の利用者様の中に、「やることがない」と来なくなってしまった方、物足りなさを感じ帰宅願望が見られた方がいらっしゃいました。そのようなケースに対し、職員間で「なんとかしたい」という声が上がりました。そのため今年度は利用者様全員が満足して帰っていただけるようにこだまの一日の流れを見直すとともに、興味・関心シートを活用して利用者様一人一人のやりたい事を把握することにしました。「暇」「やることがない」ではなく、また来たいと思っただけのようなデイサービスを目指し、活動を行います

★地域に向けた活動

・ゴミ箱作り

利用者様と一緒に、広告や新聞紙を折り、ゴミ箱を制作し施設に寄付をしています。手順が難しく一人では折れなくても、職員と一緒に折りやりがいを感じていらっしゃる方もいます。

★その他

今年度から職員が変わり、相談員は2名体制となりました。少ない職員で協力して運営してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

デイサービスセンター 嘉響

1. 令和7年度の実績

	令和7年度	令和6年度
1日平均利用者数	14.65 名	11.54 名
延べ利用者数	4482 名 介護:2987 名 予防:1495 名	3542 名 介護:2289 名 予防:1253 名
稼働率	81.5%	64%
新規利用者	25 名	21 名
終結者数	16 名	8 名
年間収入	3861 万円	3177 万円

デイサービスセンター 嘉響 令和7年度の実績報告をさせていただきます。

1日平均利用者数は14.6名、延べ利用者数4482名、稼働率81%、新規利用者数25名、終結利用者数16名となっています。

昨年度と比較すると、1日平均利用者数は約3名増加、延べ利用者数も940名増加、稼働率は16.5%向上、収入約680万増加となり、嘉響運営開始以来、最も良い営業実績となりました。

好調となった要因の一つとして、嘉響が一昨年前より取り組んでいる提供プログラムの見直しが行われると思います。特に機能訓練内容の拡充として導入したトレーニングマシンや理学療法士を常時配置することなど、事前ニーズ調査にて要望の多かった機能訓練に対するサービス内容の再編を行ったことが良かったのではないかと考えられます。昨年度の満足度調査においても、実際にご利用いただいている利用者様の92%の方に機能訓練について“満足”との回答をいただく事が出来ました。

食事についても季節ごとの食事行事や提供時の食器の変更、特別おやつを提供など、利用者様に喜んでいただける内容の検討・提供を行っています。「嘉響さんの食事は豪華でうれしいです。ほかのデイにもいっているけど味も見た目も嘉響さんのほうが良いですね」との感想をいただく事や、「家族に見せたいから」と食事をスマホで撮影される方がいらっしゃるなど、満足度調査でも94%の方に“満足”との回答を頂くことができました。

入浴サービスについては、多い日で1日に13名の方が入浴されることもありますが、午前・午後での対応や、入浴対応職員を増やして大浴場・個別浴場の同時入浴にすることなど、利用者様の希望に沿った入浴対応を実施することができており、

こちらでも満足度調査にて 95%の方に“満足”との回答をいただく事ができています。

また、楽しみながら体を動かすことができる集団レクリエーションや、手芸等を好まれる方に対して、パッチワークやきめ込み人形作成などの作品作りなど、当初より嘉響で大事にしてきた個別活動も引き続き提供を行うことで、幅広いニーズに沿ったサービス提供を行うことができるようになりました。

昨年度、良い実績を上げられたことのもうひとつの要因として、法人内居宅のケアマネの方々や、地域包括職員の方々と連携を深めることで、より多くの利用者様に嘉響のことを知っていただく機会となり、利用につながることができたのではないかと思います。単に嘉響の努力によるものだけではなく、法人内事業所間の連携を強固にし、ご協力いただくことにより、さらに良い結果につながったのだと思います。

2.2025 年度 品質目標について

令和 7 年度は“顧客に選ばれる嘉響になろう”との品質目標を掲げ、提供サービスの見直しや広報活動を実施。目標値として平均稼働率65%以上に対して、結果は 81%となり目標値を大幅に上回り達成となった。また、満足度調査において機能訓練・入浴・食事サービスの満足度を 95%以上とすることを目標としていたが、入浴以外の機能訓練・食事サービスではわずかに達成できなかった。

令和8年度は引き続き、利用者様に楽しんでいただける企画等の検討・振り返りを行い、“利用者様のやりたいことを実現できる嘉響”を目指し、昨年度達成できなかった満足度の向上、目標値の達成を目標としました。

また、定期的な屋外機能訓練の実施を計画しています。嘉響を利用することで①機械運動や機能訓練等により心身機能の維持ができる ②維持した心身機能により家事や家での役割が継続できる。③買い物等の社会参加を継続できる そういった環境作りを目指していきたいと思います。

普段買い物に行けない、山間部にお住いの利用者様からは「移動販売車は来るけど、いつも同じものばかりだから飽きちゃう」との話も聞かれており、“ご自身で好きなものを選んで購入する”といったニーズにも対応していきたいと考えています。

3.その他トピックス

今年度も安全にサービス提供が行えるように、サービス提供方法やプログラムについて、検討・変更をおこない、選ばれる嘉響になることで、引き続き顧客の獲得、稼働率の向上を目指していきたいです。